

空き店舗利用で、魅力ある商業・観光空間創り

豊川商工会議所

機関名	豊川商工会議所		
所在地	愛知県豊川市豊川町辺通 4-4		
電話番号	0 5 3 3 - 8 6 - 9 9 8 4		
地域概要	(1)管内人口 11 万 8 千人	(2)管内商店街数 15 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 5 商店街	(2)会員数 160 商店	
	(3)空き店舗率 13%	(4)大型店空き店舗 - 店	
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街 (観光客向けお土産店)		

【事業名と実施年度】

平成 1 3 年度 空き店舗対策事業
総事業費

チャレンジショップ、情報提供、イベント
1 1 , 0 0 0 千円

【事業実施内容】

1. 背景

日本三大稲荷の 1 つとして、知られる豊川稲荷には、豊川の顔として、JR、私鉄駅や豊川インターチェンジなどの交通機関に恵まれ、年間数百万人の参拝客が訪れ、周辺の商店街も観光商業地として豊川稲荷とともに栄えてきた。しかし、今日、長引く不況と公共交通機関での参拝客や観光バス利用での団体客の激減、参拝客たちが滞留時間の短い通過型になるなど、商店街への来街者は年々減少し、商業力の落ち込みにより廃業する店が増えはじめた。

商店街の疲弊化が著しくなってきたことを懸念し、商工会議所と地元商業者、地域住民が一体となり、豊川稲荷周辺の商店街の商業と観光の活性化の具現化に向け、空き店舗を活用した魅力ある商業・観光空間創造の創出を目指し、空き店舗対策事業に取り組むことになった。



2. 事業内容

<チャレンジショップ事業>

チャレンジショップ 1 号館「来恩」

所在地：豊川市門前町 10 番地 面積 1 階部分(111.78 m²) 2 階部分(99.72 m²)

商工会議所青年部・OB の有志 26 名(資本金 790 万円)の出資により設立した「(有)ぼちぼち繁盛屋」=店名「来恩」(社長都築享一氏)が、こだわりをもった飲食や駄菓子を販売する店として、平成 13 年 11 月 21 日に開店。店舗の 1 階部分を飲食(客席 22 人収容)と駄菓子、土産物販売、及び 2 階部分を団体の飲食(客席 30 人収容)スペースとして活用。(継続中)



チャレンジショップ 2 号館「お宝スペースチャレンジショップ館」

所在地：豊川市西本町 30 番地

面積 26.5 m²

商工会議所ニュース「メセナ」で公募し、創業意欲ある者、主婦や学生たち 11 名が、短期のチャレンジショップとして、出店。中国料理のテイクアウト、おもちゃ、婦人服のリサイクル品、手作り服、手芸品、小物、花の苗などの販売の他、絵画や陶器等の展示も行なった。(継続中)



< 情報発信事業 >

観光案内所(3号館)及び情報提供事業

3号館豊川観光案内所

豊川市西本町 33 番地 面積 151.07 m²

豊川はじめ、東三河、三遠南信の広域観光地等を紹介する情報拠点「豊川観光案内所」として、11月21日に開館した。館内には、東三河や奥三河の観光パンフレットやポスターが、掲示され、パソコンによる観光地の検索が出来る。又、昔なつかしい豊川稲荷の絵地図を展示するとともに、



一角に、豊川海軍工廠資料展示室を設けている。(継続中)

広報事業

空き店舗対策事業を市民や、来街者、観光客に広く知らせるため、「豊川稲荷周辺マップ」及び空き店舗対策事業概要パンフレットを作成。

地域観光開発事業

空き店舗対策事業オープニングセレモニー

開催日 11月21日(水) 場所 薬師如来堂イベント会場

- ・二橋洋子ヴァイオリンコンサート
- ・長寿健康餅配布
- ・地元商店街主体イベント

(薬師如来堂イベント会場)

期 間 11月21日(水)～25日(日)

- ・商業コーナー・バザー
- ・健康フェア

長寿健康茶接待・販売 お薬師まんじゅう接待他

豊川観光案内所経路看板の設置

「豊川観光案内所」をはじめ豊川稲荷や薬師如来堂への経路と、豊川地区の各通りの道案内をする案内看板として、JR 豊川駅と名鉄豊川稲荷駅の前にそれぞれ1基ずつ設置。裏面の「豊川・宝飯イラストマップ」は、豊川宝飯八景をはじめ、豊川宝飯の広域的な観光案内板となっている。観光地だけでなく、祭礼など催し物も多

数掲載。(社)東三河法人会豊川支部が、社会貢献事業として、寄贈。

薬師堂でのイベント

開門した薬師如来堂境内を利用して、また、豊川稲荷周辺で、地元商店街と一体となって、商業バザーをはじめ、各種イベントを実施、チャレンジショップ等への集客を高めることが出来た。



街並景観統一事業「統一提灯」飾り付け

5 商店街で 128 店舗が、オープニングの 11 月 21 日より一斉に統一提灯の飾付けを行なった。

【 効 果 】

- ・ 青年部らの出店による危機感の醸成と、集客向上を考えた個店同士（チャレンジショップを含め）の前向きなイベント事業の取り組みが出来た。
- ・ 地域に眠っていた貴重な資産を発掘し、街づくりの為に蘇らせるという試みが、地域に浸透し集客向上の為に活用がなされてきた。
- ・ 広報活動の一環として、マップを制作し活性化ツールとして配布したが、商店街の各個店から強い増刷要望があり、商店街で増刷配付し積極的に活用している。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

空き店舗対策事業は、商店街に発生した空き店舗を埋めると言う発想だけで実施しても、その効果は補助期間中の短期的なものとなり、事業のための事業になりかねない。本来の目的としては、魅力ある個性的な商店街の形成による街の活性化にあると思われる。その実現に向けて各地域それぞれおかれた環境の中で、様々な角度から空き店舗対策事業に取り組むことが必要と思われる。

【 関 連 U R L 】

豊川商工会議所 <http://www.pst.ne.jp/~tte->